

平成27年度学校保健統計調査結果【速報】

大阪府総務部統計課 勤労・教育グループ

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/hoken/index.html> 》

平成28年1月22日に、平成27年度学校保健統計調査速報(大阪府分)を取りまとめましたので、その概要を紹介します。

なお、この数値は速報値であり、後日(平成28年3月予定)文部科学省から公表される「学校保健統計調査報告書」の数値が確定値となります。

～発育状態～

1 身長・体重

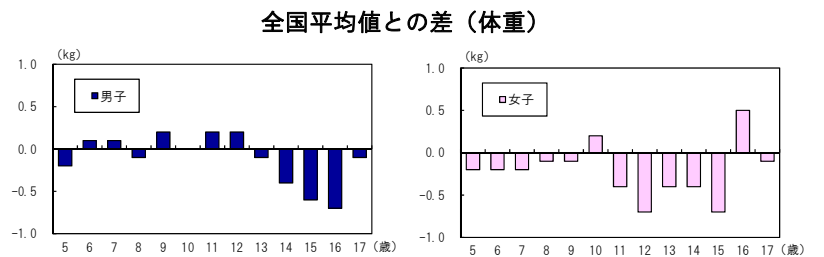
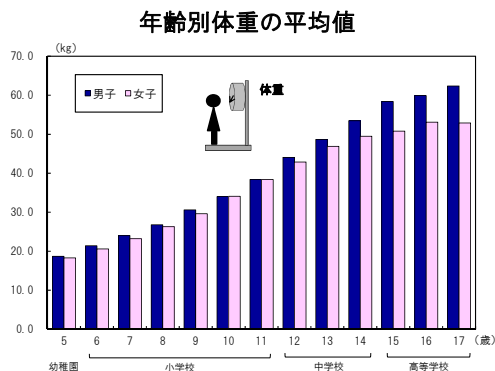
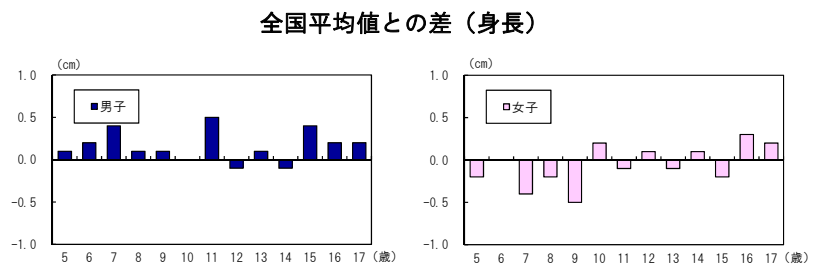
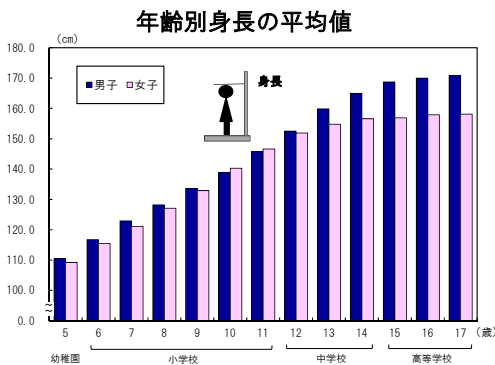
(1) 全国との比較

—身長は、男子は全国平均よりやや高く、女子はやや低い傾向—

—体重は、男女とも全国平均よりやや軽い傾向—

大阪府の幼児、児童及び生徒の身長を年齢別に全国と比較してみると、男子は、10歳、12歳と14歳を除くすべての年齢で全国平均値を上回っており、女子は、5歳、7歳から9歳、11歳、13歳と15歳で下回っています。

また、体重では男子は5歳、8歳と13歳から17歳で、女子は、10歳と16歳を除くすべての年齢で全国平均値を下回っています。



大阪府の身長・体重の平均値

		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男子	身長 (cm)	110.5	116.7	122.9	128.2	133.6	138.9	145.7	152.5	159.9	165.0	168.7	170.0	170.9
	体重 (kg)	18.7	21.4	24.0	26.8	30.6	34.0	38.4	44.1	48.7	53.5	58.4	59.9	62.4
女子	身長 (cm)	109.2	115.5	121.1	127.1	132.9	140.3	146.6	151.9	154.8	156.6	156.9	157.9	158.1
	体重 (kg)	18.3	20.6	23.2	26.3	29.6	34.1	38.4	42.9	46.9	49.5	50.8	53.1	52.9

注) 年齢は平成27年4月1日現在の満年齢である。

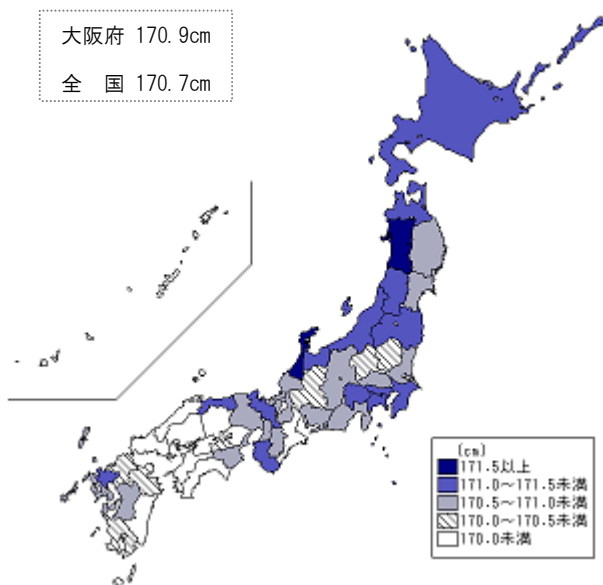
(2) 都道府県別の比較 (17歳の平均値)

—身長・体重ともに体格は、男子は東北・北陸地方が大きい傾向—

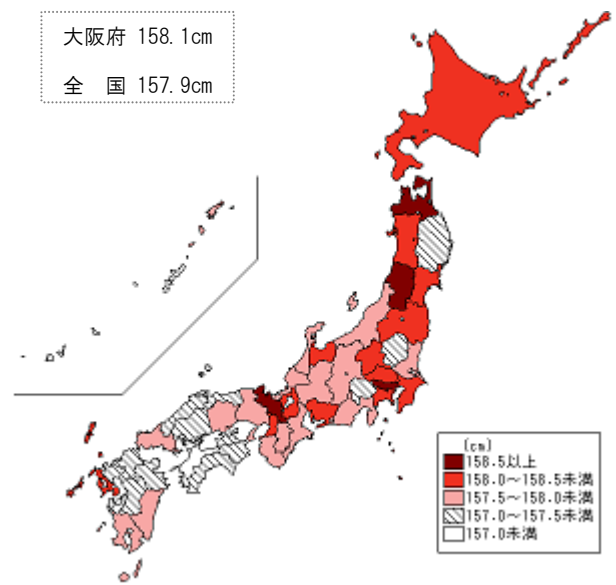
17歳の身長を都道府県別順位で見ると、男子は秋田県が172.0cmで1番高く、次に石川県、青森県・鳥取県に続き、大阪府は170.9cmで福井県・愛知県と同じ17番目、女子は青森県が158.8cmで1番高く、次に京都府、山形県・東京都と続き、大阪府は158.1cmで宮城県と同じ13番目となっています。

また、体重では男子は秋田県が65.8kgで1番重く、次に青森県、山形県と続き、大阪府は62.4kgで島根県、愛媛県と同じ24番目、女子は秋田県が55.0kgで1番重く、次に高知県、長崎県と続き、大阪府は52.9kgで東京都、福井県、愛媛県と同じ22番目となっています。

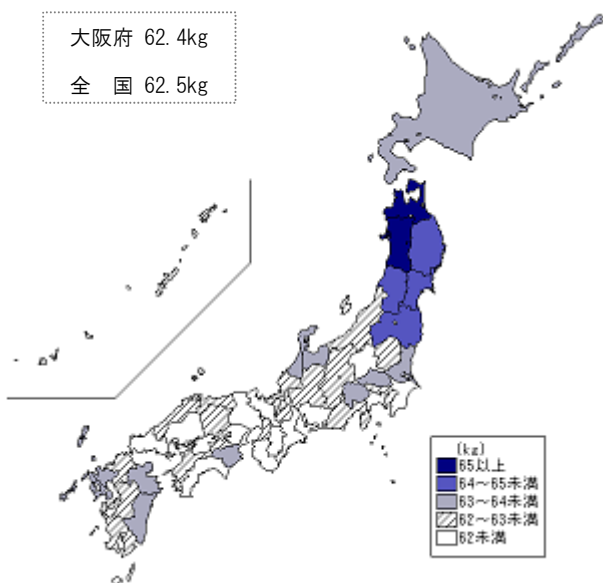
都道府県別身長の平均値 (17歳男子)



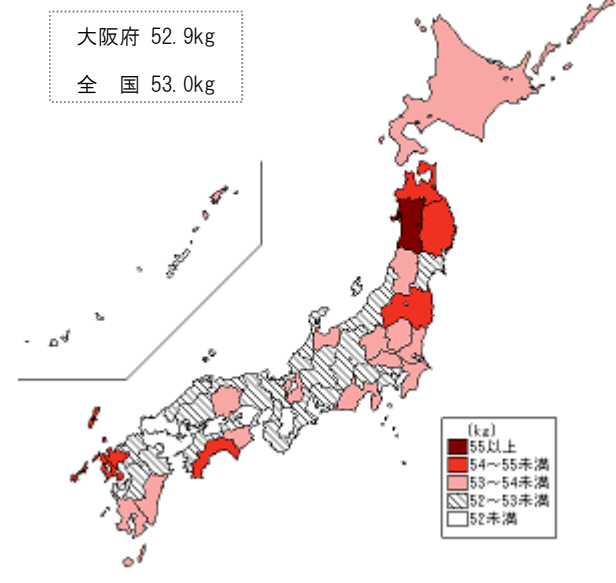
都道府県別身長の平均値 (17歳女子)



都道府県別体重の平均値 (17歳男子)



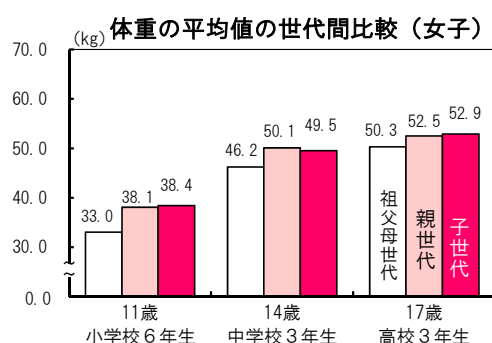
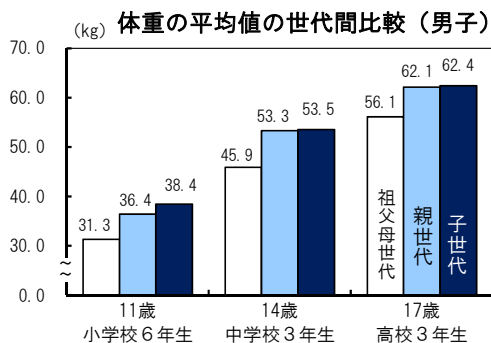
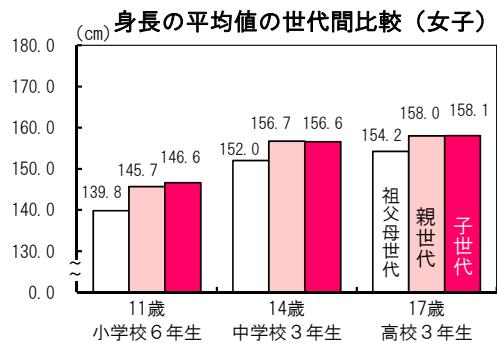
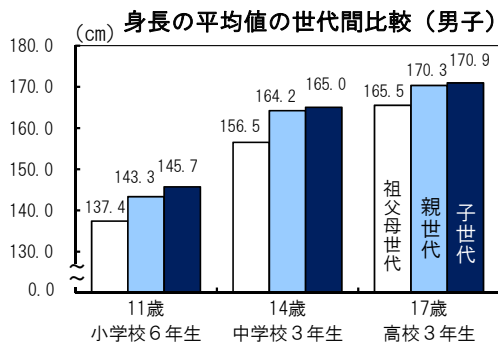
都道府県別体重の平均値 (17歳女子)



(3) 世代間の比較

ー「親の世代」と「子の世代」の間では増加の幅は小さいー

「祖父母の世代（55年前の数値）」、「親の世代（30年前の数値）」、「子の世代」を比較してみると、全体的には「祖父母の世代」から「親の世代」は大きく増加しています。「親の世代」から「子の世代」も増加していますが、増加の幅は「祖父母の世代」から「親の世代」に比べ、小さくなっています。



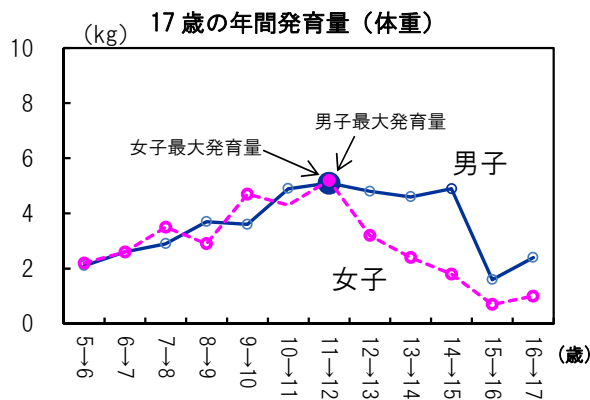
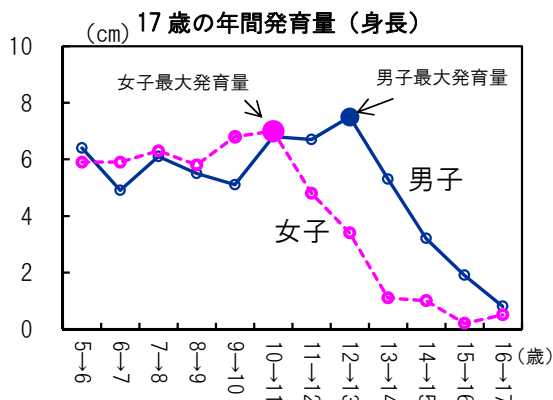
世代（調査年度）	11歳	14歳	17歳
祖父母世代（S35年度）	S23年度生	S20年度生	S17年度生
親世代（S60年度）	S48年度生	S45年度生	S42年度生
子世代（H27年度）	H15年度生	H12年度生	H9年度生

2 年間発育量

ー発育量が最大となる時期は、身長では女子の方が男子より2年早いー

17歳（平成9年度生まれ）の者の5歳時からの年間発育量をみると、身長の発育量が最大となる時期は、男子は12歳から13歳にかけて7.5cm、女子では10歳から11歳にかけて7.0cmとなっており、女子の方が男子に比べ2年早く最大の成長期を迎えています。

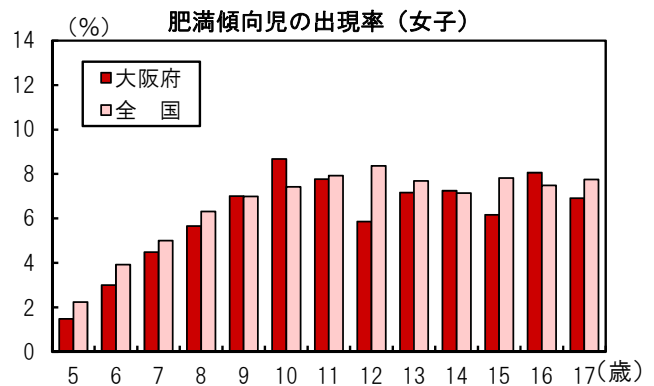
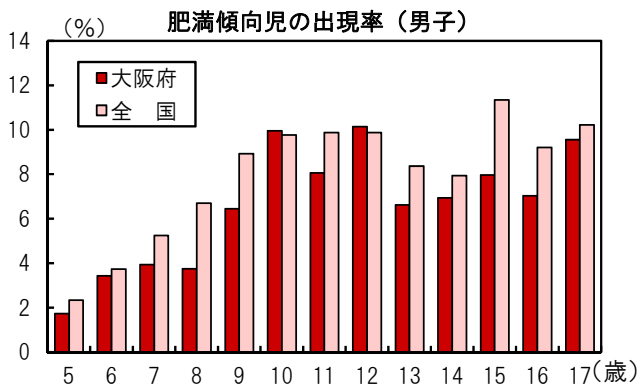
また、体重では男子は11歳から12歳にかけて5.1kg、女子では11歳から12歳にかけて5.2kgとなっており、男女とも同時期に最大の成長期を迎えています。



3 肥満傾向児の出現率

一男女とも多くの年齢で全国平均より低い傾向一

肥満傾向児の出現率を年齢別に全国と比較してみると、男子は10歳と12歳を除く年齢、女子は9歳、10歳、14歳と16歳を除くすべての年齢で全国平均値を下回っています。



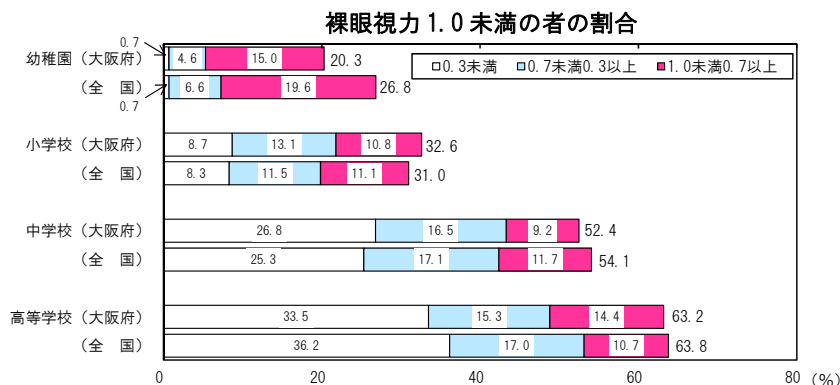
～健康状態～

主な疾病・異常等の被患率の状況

1 裸眼視力1.0未満の者の割合

一小学校は全国平均より高く、幼稚園、中学校、高等学校は低い一

裸眼視力1.0未満の者の割合は、幼稚園20.3%、小学校32.6%、中学校52.4%、高等学校63.2%となっており、小学校では全国平均を上回り、幼稚園、中学校、高等学校では下回っています。



2 むし歯（う歯）の者の割合

一幼稚園、小学校は全国平均より低い一

むし歯（う歯）の者の割合は、幼稚園34.2%、小学校48.6%、中学校42.5%、高等学校53.9%となっており、幼稚園、小学校では全国平均値を下回っています。

